

平成30年度 「スラブ・ユーラシア地域（旧ソ連・東欧）を中心とした総合的研究」に関わる「プロジェクト型」の共同研究 研究報告書

平成31年4月30日現在

研究課題名	シベリア先住諸民族の言語資料から見た社会と親族				
申請者 (代表者)	氏名		所属機関・職		
	永山ゆかり		釧路公立大学・准教授		
研究構成員		氏名	所属機関・職	専門分野	役割分担
	1	永山ゆかり	釧路公立大学・准教授	言語学（チュクチ・カムチャッカ諸語）	研究総括
	2	丹菊 逸治	北海道大学アイヌ・先住民研究センター・准教授	アイヌ・ニヴフの口承文芸	研究分担者
	3	長崎 郁	国立国語研究所・プロジェクト非常勤研究員	ユカギール語・セリクープ語	研究分担者
	4	藤代 節	神戸市看護大学・教授	言語接触・ドルガン語・ヤクート英雄叙事詩	研究分担者

研究成果の概要

本研究プロジェクトは、シベリア先住民の言語学・言語人類学、口承文芸を専門とする研究者がさまざまな人文科学的見地からフォークロアにおける異民族・他者集団の表象を検討し、議論することをおして、同地域における社会制度、親族体系、民族間の関係、民族接触の歴史と動態を解明し、シベリア先住民研究についてはロシア研究に新たな局面を展開することを目的としたもので、研究計画にしたがい、研究会を1回、国際シンポジウムを1回、いずれもスラブ・ユーラシア研究センターにおいて実施した。その結果、シベリア地域における民族接触の様相は地域により大きな差異があるものの、親族名称や民話にあらわれた民族接触の様相と、20世紀以降の調査で明らかになった社会制度とは相違があり、今後さらなる資料を集積し、比較検討することが急務であることを確認した。それぞれの研究集会の概要は次のとおりである。

研究成果の概要（続き）

第一回プロジェクト研究会（2018年7月7日（土）10:00-17:30）

「アリュートル語の親族名称・異民族名称・異民族に関する民話」永山ゆかり

「イテリメン語における異民族名称・親族名称について」小野智嘉子（千葉大学）
 「ユカギールの言語資料から見た社会と親族」長崎郁（国立国語研究所）
 「ニヴフの口頭伝承にみる民族接触」丹菊逸治（北海道大学アイヌ・先住民研究センター）
 「エヴェンキ語における親族と他民族」松本亮（神戸山手大学）
 「タイムル地方の言語資料および言語使用にかんする報告」藤代節（神戸市看護大学）

北方の言語と文化に関するシンポジウム 2019 「シベリアの言語と文化は今」

日時：2019年2月16日（土）、17日（日）

基調講演：Айнский фольклор: мифы о животных из «Kamui Yukar» Синко Огихара (Professor emerita at Chiba University)

セクション 1： Межэтнический контакт в фольклоре

Наталья Анатольевна Тучкова (Томский государственный педагогический университет) （通訳：長崎郁）

Нина Семёновна Кудрякова (КГБУК Таймырский Дом народного творчества) （通訳：藤代節）
 Председатель Ицудзи ТАНГИКУ (Center for Ainu and Indigenous Studies, Hokkaido University)

セクション 2： Документация чукотско-корякских языков

Мария Юрьевна Пупынина (Институт лингвистических исследований РАН) （通訳：永山ゆかり）

Alexander D. King (Franklin & Marshall College) （通訳：永山ゆかり）

Председатель Юкари Нагаяма (Slavic-Eurasian Research Center, Hokkaido University)

セクション 3： Языки народов Таймыра сегодня

Зоя Николаевна Болина (КГБУК Таймырский Дом народного творчества) （通訳：松本亮）

Анна Алексеевна Барболина (КГБУК Таймырский Дом народного творчества) （通訳：藤代節）

Председатель Сэцу Фудзисиро (Kobe City College of Nursing)

主催：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター プロジェクト型共同研究「シベリア先住諸民族の言語資料から見た社会と親族」、科研費基盤 (B)「シベリア少数言語の統語構造に関する類型論的研究：従属節の構造と節連結を中心に」（代表：永山ゆかり）、科研費基盤 (B)「『混成言語』から見なおすユーラシアの諸言語：言語接触と言語形成の類型を探る」（代表：藤代節）、アイヌ先住民研究センター「言語アーカイブプロジェクト」（代表：丹菊逸治）

主な発表論文等（雑誌論文、学会発表、図書 等）※謝辞の有無について明記願います。

本研究プロジェクトの成果として、研究会ならびにシンポジウムの発表まとめ、2019 年度中に研究報告集を刊行する予定である。

当該研究活動を基に応募中の研究プロジェクト（科研費等）

※枠を調整することは構いませんが、ページは追加しないでください。